



地域との絆 まっちゃんへの 想い

地域に根付いた小学校

これまで、朝の登校見守り、地域合同の運動会や避難訓練など、地域との絆を大切に紡いできた松合小。

最後の1年は、新型コロナが始まりました。3月から休校が続き、4月に入学式は開催されたものの、本格的に授業が始まったのは6月に入ってから。夏休みは2週間に短縮され、勉強も駆け足になりました。

毎年地域と一緒に開催していた運動会は児童の競技だけになりましたが、全員が力を出し切った素晴らしいものに。

11月、松合にかかる架橋200年の目鑑橋を地域ぐるみでお祝い。児童も記念ののぼり旗を立ててお手伝いしました。地域全体が、まるで大きな学校のような松合地区。ここでのかけがえない経験が、子どもたちの心を大きく育ててくれました。



5 図工の授業で作った新聞紙の服 6 人体の仕組みを学ぶ 7 海の火まつりで踊りを披露 8 今年3月完成の閉校記念碑 9 「大きな芋が掘れたよ」 10 ワカメの加工を見学 11 松合の町並み探検 12 放課後子ども教室でお手玉づくり 13 ヘルスメイトさんの食育教室 14 落ち葉掃除のお手伝い 15 1年生の手を引いて歓迎遠足 16 高潮被害の合同慰霊祭 17 お別れ遠足でみんな一緒に滑り台 18 待ちに待ったプール開き 19 「あここの木をスケッチしたよ◎」

1 最後の運動会 2 防災訓練で放水体験 3 水族館に見学旅行 4 毎朝の登校見守りボランティア

これからもずっと応援します



中川 浩子 さん

元気をありがとう

松合小には、父、私たち9人兄弟、子どもと三代にわたって育ててもらいました。松合のみんなは学校と一心同体。それぞれの思い出があつて、閉校に寂しさを感じていると思います。

昨年、コロナ禍で休校中の校庭で桜を見ていたら、子ども連れのお母さんが声を掛けてくれました。見れば、28年前、私が登校見守りボランティアを始めた頃の小学生。すてきな女性に成長していました。

放課後子ども教室に携わって12年。地域の協力者のおかげで続けられました。松合の子どもたちはとても素直。顔を見るだけで元気にしてくれました。本当に楽しかった、ありがとう。

地域の支えが自慢でした

海と山、豊かな自然に囲まれた松合小に子どもたちの元気な声が響き渡る…。そんな風景がいつまでも続くと思っていた。歴史を閉じる判断を私たちで行つてよいのか、松合は今後どうなるのか、地域の皆さんとPTAで話し合いを重ねました。その結果、子どもたちの教育環境をより整えたいと考え統合という苦渋の決断をしました。毎朝の登校の付き添いや、地域ぐるみの運動会での応援といった地域の方々の支えは、松合小の自慢です。部活動でも、どこにも負けない団結力を示すことができました。これからも新たな環境に進んでいく子どもたちを応援します。



早川 佳秀 さん

令和2年度松合小学校PTA会長